

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



| タイトル | 開講所属 | 時間割コード | 授業科目名 | | | 担当 教員 | 対象年次 | 学期 | 曜日・ 校時 | 開講期間 |
|---------------------|----------------|----------------|------------------|---|---|----------|-------------|----|-----------|------|
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011001 | ●総合英語 II (M4) | 和 | E | 村岡三奈子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 木 3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011002 | ●総合英語 II (T7) | 和 | E | 吉村宗司 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 2 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011003 | ●総合英語 II (E2) | 和 | E | 吉村宗司 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011004 | ●総合英語 II (T4) | 和 | E | 加島巧 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 2 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011005 | ●総合英語 II (E1) | 和 | E | 加島巧 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011006 | ●総合英語 II (T10) | 和 | E | 古場なおみ | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金 3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011007 | ●総合英語 II (T3) | 和 | E | 古場なおみ | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金 4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011008 | ●総合英語 II (P2) | 和 | E | 井石哲也 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 月 3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011009 | ●総合英語 II (F(英2)) | 和 | E | 井石哲也 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 月 4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011010 | ●総合英語 II (F(英3)) | 和 | E | 大坪有実 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 月 4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011011 | ●総合英語 II (E3) | 和 | E | 大坪有実 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教 | | | | | | | | | |

シラバス一覧

| | | | | | | | | | | |
|---------------------|----------------|----------------|---------------|---|---|-------|-------------|----|----|---|
| ラバス (教養教育科目) | 養教育 英語科目 | 20130590011012 | ●総合英語Ⅱ(L1) | 和 | E | 大坪有実 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011013 | ●総合英語Ⅱ(T6) | 和 | E | 中村吏花 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水2 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011014 | ●総合英語Ⅱ(E4) | 和 | E | 中村吏花 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011015 | ●総合英語Ⅱ(E8) | 和 | E | 稲富百合子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水1 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011016 | ●総合英語Ⅱ(T5) | 和 | E | 稲富百合子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水2 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011017 | ●総合英語Ⅱ(T8) | 和 | E | 濱崎大 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011018 | ●総合英語Ⅱ(T9) | 和 | E | 宇佐美康子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011019 | ●総合英語Ⅱ(E7) | 和 | E | 稲田俊明 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 火3 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011020 | ●総合英語Ⅱ(L4) | 和 | E | 稲田俊明 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011021 | ●総合英語Ⅱ(M1) | 和 | E | 稲田俊明 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 木4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011022 | ●総合英語Ⅱ(K3) | 和 | E | 松田雅子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水2 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011023 | ●総合英語Ⅱ(K2) | 和 | E | 松田雅子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011024 | ●総合英語Ⅱ(F(英1)) | 和 | E | 廣江頭 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 月4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011025 | ●総合英語Ⅱ(D1・2) | 和 | E | 廣江頭 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 木4 | ～ |
| 2013年度シラバス (教養教育科 | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011026 | ●総合英語Ⅱ(M3) | 和 | E | 廣江頭 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金3 | ～ |

シラバス一覧

| 目) | 語科目 | | | | | | | | | |
|--------------------|----------------|----------------|------------|---|---|--------|-------------|----|-----|---|
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011027 | ●総合英語Ⅱ(T1) | 和 | E | 廣江 頭 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011028 | ●総合英語Ⅱ(E6) | 和 | E | 奥田 阿子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 火 3 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011029 | ●総合英語Ⅱ(L6) | 和 | E | 奥田 阿子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011030 | ●総合英語Ⅱ(K4) | 和 | E | 奥田 阿子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金 3 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011031 | ●総合英語Ⅱ(T2) | 和 | E | 奥田 阿子 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011032 | ●総合英語Ⅱ(M6) | 和 | E | 池田 俊也 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011033 | ●総合英語Ⅱ(K1) | 和 | E | 西原 俊明 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 3 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011034 | ●総合英語Ⅱ(M2) | 和 | E | 西原 俊明 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 金 3 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011035 | ●総合英語Ⅱ(L3) | 和 | E | 隈上 麻衣 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 月 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011036 | ●総合英語Ⅱ(E5) | 和 | E | 小笠原 真司 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 火 3 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011037 | ●総合英語Ⅱ(L5) | 和 | E | 小笠原 真司 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011038 | ●総合英語Ⅱ(M5) | 和 | E | 小笠原 真司 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 木 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011039 | ●総合英語Ⅱ(L2) | 和 | E | 稲毛 逸郎 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 4 | ～ |
| 2013年度シラバス(教養教育科目) | 教養教育-教養教育 英語科目 | 20130590011040 | ●総合英語Ⅱ(P1) | 和 | E | 隈上 麻衣 | 1年,2年,3年,4年 | 後期 | 水 3 | ～ |



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|-----------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 木 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011001 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(M4) | | |
| 編集担当教員 | 村岡 三奈子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 村岡 三奈子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 村岡 三奈子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養D棟]D-27 | | |
| 対象学生（クラス等） | (M4) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | muraoka@n-junshin.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | 095-846-0084 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 随時 | | |
| 授業のねらい | 政治・経済・科学技術・文化・教育など、さまざまなトピックを題材にした英字新聞を読みながら、現代社会が抱える諸問題を英語で分析的に理解する能力を養うことを目指す。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的語彙や文法の習得、リーディングおよびその要約、さらに内容把握の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行なう。 | | |
| 授業到達目標 | 基本的構文および文法事項に留まらず、英文記事を読むための表現や基礎知識を習得して、英字新聞が抵抗なく読めるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | 10月3日：イントロダクション | |
| | 2 | 10月10日：第1章 | |
| | 3 | 10月17日：第2章 | |
| | 4 | 10月24日：第3章 | |
| | 5 | 10月31日：第4章 | |
| | 6 | 11月7日：第5章 | |
| | 7 | 11月14日：第6章 | |
| | 8 | 11月21日：第7章 | |
| | 9 | 11月28日：第8章 | |
| | 10 | 12月5日：第9章 | |
| | 11 | 12月12日：第10章 | |
| | 12 | 12月19日：第11章 | |

| | | |
|-------------|--|-------------|
| | 13 | 12月26日：第12章 |
| | 14 | 1月9日：G-TELP |
| | 15 | 1月16日：第13章 |
| | 16 | 1月30日：定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | Insights 2013 (KINSEIDO) | |
| 成績評価の方法・基準等 | 出席・授業態度：10% 小テスト：10% G-TELP：20% 定期試験：40% 課外学習の e-learning：20% (詳細は第1回目の授業で説明) | |
| 受講要件 (履修条件) | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水2 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011002 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T7) | | |
| 編集担当教員 | 吉村 宗司 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 吉村 宗司 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 吉村 宗司 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養G棟]G-38 | | |
| 対象学生（クラス等） | (T7) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | soshi@tea.ocn.ne.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 授業終了後（12:00～12:20／授業時の教室） | | |
| 授業のねらい | 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語（米語） - 必要最低限の英語（米語） - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性（音法）について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語（米語）の運用能力を習得するトレーニングを行っていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事（ニュース）等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。 | | |
| 授業到達目標 | 本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であったことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。 | | |
| 授業内容（概要） | 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性（音法）の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行っていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか） | |
| | 2 | 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』—分析結果の報告と対策法について | |

| | | |
|-------------|--|--|
| 授業内容 | 3 | プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/ |
| | 4 | /r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説 |
| | 5 | 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック |
| | 6 | 『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化 |
| | 7 | 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化 |
| | 8 | 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン |
| | 9 | 『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化①） |
| | 10 | 『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化②）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン |
| | 11 | 『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響） |
| | 12 | On an Airplane(1) |
| | 13 | On an Airplane(2)、洋楽を聞き取る |
| | 14 | G-TELP実施 |
| | 15 | At an Airport、洋楽を聞き取る、まとめ |
| | 16 | 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。なお、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。 |
| | キーワード | 音法 |
| | 教科書・教材・参考書 | (1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材） (2) American（ハンドアウト教材） (3) アメリカの生活と文化（VTR教材） |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験50%、受講態度、及び授業中の発表10%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL10%、PowerWords10%）等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。 | |
| 受講要件（履修条件） | 配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。 | |
| 本科目の位置づけ | 本科目は、英語の四技能習得のうち、実用英語運用能力、即ちリスニングとスピーキングの能力を促進させることに力点を置いた位置づけである。 | |
| 学習・教育目標 | 英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげることも目標に掲げたい。 | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | 辞書、あるいは電子辞書を準備する。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望ましい。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できる。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!! | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011003 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E2) | | |
| 編集担当教員 | 吉村 宗司 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 吉村 宗司 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 吉村 宗司 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養G棟]G-38 | | |
| 対象学生（クラス等） | (E2) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | soshi@tea.ocn.ne.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 授業終了後（14:20～14:40／授業時の教室） | | |
| 授業のねらい | 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語（米語） - 必要最低限の英語（米語） - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性（音法）について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語（米語）の運用能力を習得するトレーニングを行っていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事（ニュース）等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。 | | |
| 授業到達目標 | 本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であったことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。 | | |
| 授業内容（概要） | 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性（音法）の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行っていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか） | |
| | 2 | 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』—分析結果の報告と対策法について | |

| | | |
|-------------|--|--|
| 授業内容 | 3 | プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/ |
| | 4 | /r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説 |
| | 5 | 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック |
| | 6 | 『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化 |
| | 7 | 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化 |
| | 8 | 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン |
| | 9 | 『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化①） |
| | 10 | 『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化②）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン |
| | 11 | 『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響） |
| | 12 | On an Airplane(1) |
| | 13 | On an Airplane(2)、洋楽を聞き取る |
| | 14 | G-TELP実施 |
| | 15 | At an Airport、洋楽を聞き取る、まとめ |
| | 16 | 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。なお、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。 |
| | キーワード | 音法 |
| | 教科書・教材・参考書 | (1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材） (2) American（ハンドアウト教材） (3) アメリカの生活と文化（VTR教材） |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験50%、受講態度、及び授業中の発表10%、G-TELPテスト20%、課外学習のe-learning20%（3 Step CALL10%、PowerWords10%）等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。 | |
| 受講要件（履修条件） | 配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。 | |
| 本科目の位置づけ | 本科目は、英語の四技能習得のうち、実用英語運用能力、即ちリスニングとスピーキングの能力を促進させることに力点を置いた位置づけである。 | |
| 学習・教育目標 | 英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげることも目標に掲げたい。 | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | 辞書、あるいは電子辞書を準備する。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望ましい。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できる。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!! | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--------------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水2 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011004 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T4) | | |
| 編集担当教員 | 加島 巧 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 加島 巧 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 加島 巧 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養B棟]B-15 | | |
| 対象学生（クラス等） | (T4) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 授業時間の前後 | | |
| 授業のねらい | ねらい：二種類のテキストを使い、さまざまな練習問題を解いて行きます。英検2級の問題集に併せてリスニング能力や速読能力を高めるテキストを使用し、英語の総合力を高めます。プリントも使用します。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 授業方法（学習指導法）：演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解して行きます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。 | | |
| 授業到達目標 | 到達目標：テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。 | | |
| | 授業の最初には速読のプリントを行います。次にEnglish Proficiency Testを解き、その後英検の過去問題を読んでいきます。必ず指定され部分を予習しておいてください。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 第1回：オリエンテーション 速読・Pracatice Test 1 | |
| | 2 | 第2回：速読・Practice Test 2 英検過去問 1 | |
| | 3 | 第3回：速読・Practice Test 3 英検過去問 2 | |
| | 4 | 第4回：中間テスト1回目 速読・Practice Test 4 | |
| | 5 | 第5回：速読・Practice Test 5 英検過去問 3 | |
| | 6 | 第6回：速読・Practice Test 6 英検過去問 4 | |

| | | |
|-------------|--|-------------------------------------|
| 授業内容 | 7 | 第7回：速読・Practice Test 7 英検過去問 5 |
| | 8 | 第8回：中間テスト2回目 速読・Practice Test 8 |
| | 9 | 第9回：速読・Practice Test 9 英検過去問 6 |
| | 10 | 第10回：速読・Practice Test 10 英検過去問 7 |
| | 11 | 第11回：速読・まとめ 1 |
| | 12 | 第12回：速読・まとめ 2 |
| | 13 | 第13回：G-TELPテスト |
| | 14 | 第14回：速読・まとめ 3 英検過去問 8 |
| | 15 | 第15回：中間テスト 3 |
| | 16 | 第16回：定期試験 |
| キーワード | 英検2級 総合英語 | |
| 教科書・教材・参考書 | English Proficiency Test (南雲堂) 2,100円 2013年度版英検2級過去6回全問題集 (旺文社英検書) 1,365円 (第一回目の授業時に教室にて販売します。) | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験50% 授業中の小テスト10% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL 10% PowerWords 10%) | |
| 受講要件 (履修条件) | 定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊とも購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--------------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011005 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E1) | | |
| 編集担当教員 | 加島 巧 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 加島 巧 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 加島 巧 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養B棟]B-15 | | |
| 対象学生（クラス等） | (E1) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 授業時間の前後 | | |
| 授業のねらい | ねらい：二種類のテキストを使い、さまざまな練習問題を解いて行きます。英検2級の問題集に併せてリスニング能力や速読能力を高めるテキストを使用し、英語の総合力を高めます。プリントも使用します。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 授業方法（学習指導法）：演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解して行きます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。 | | |
| 授業到達目標 | 到達目標：テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。 | | |
| | 授業の最初には速読のプリントを行います。次にEnglish Proficiency Testを解き、その後英検の過去問題を読んでいきます。必ず指定され部分を予習しておいてください。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 第1回：オリエンテーション 速読・Pracatice Test 1 | |
| | 2 | 第2回：速読・Practice Test 2 英検過去問 1 | |
| | 3 | 第3回：速読・Practice Test 3 英検過去問 2 | |
| | 4 | 第4回：中間テスト1回目 速読・Practice Test 4 | |
| | 5 | 第5回：速読・Practice Test 5 英検過去問 3 | |
| | 6 | 第6回：速読・Practice Test 6 英検過去問 4 | |

| | | |
|-------------|--|-------------------------------------|
| 授業内容 | 7 | 第7回：速読・Practice Test 7 英検過去問 5 |
| | 8 | 第8回：中間テスト2回目 速読・Practice Test 8 |
| | 9 | 第9回：速読・Practice Test 9 英検過去問 6 |
| | 10 | 第10回：速読・Practice Test 10 英検過去問 7 |
| | 11 | 第11回：速読・まとめ 1 |
| | 12 | 第12回：速読・まとめ 2 |
| | 13 | 第13回：G-TELPテスト |
| | 14 | 第14回：速読・まとめ 3 英検過去問 8 |
| | 15 | 第15回：中間テスト 3 |
| | 16 | 第16回：定期試験 |
| キーワード | 英検2級 総合英語 | |
| 教科書・教材・参考書 | English Proficiency Test (南雲堂) 2,100円 2013年度版英検2級過去6回全問題集 (旺文社英検書) 1,365円 (第一回目の授業時に教室にて販売します。) | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験50% 授業中の小テスト10% G-TELPテスト20% 課外学習のe-learning 20% (3Step CALL 10% PowerWords 10%) | |
| 受講要件 (履修条件) | 定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊とも購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011006 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T10) | | |
| 編集担当教員 | 古場 なおみ | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 古場 なおみ | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 古場 なおみ | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-42 | | |
| 対象学生（クラス等） | (T10) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | kobaknke@yahoo.co.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 講義の前後 | | |
| 授業のねらい | （１）世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。（２）アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 講義形式でテキストを進める。 | | |
| 授業到達目標 | 国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | 自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 | |
| | 2 | CNN Student News Unit 1 | |
| | 3 | CNN Student News Unit 1,3 | |
| | 4 | CNN Student News Unit 3 | |
| | 5 | CNN Student News Unit 5 | |
| | 6 | CNN Student News Unit 5,7 | |
| | 7 | CNN Student News Unit 7 | |
| | 8 | CNN Student News Unit 9 | |
| | 9 | CNN Student News Unit 9,11 | |
| | 10 | CNN Student News Unit 11 | |
| | 11 | CNN Student News Unit 13 | |
| | 12 | CNN Student News Unit 13, 15 | |
| | 13 | G-TELP | |

| | | |
|-------------|--|--------------------------|
| | 14 | CNN Student News Unit 15 |
| | 15 | CNN Student News Review |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | CNN Student News (Asahi Press) | |
| 成績評価の方法・基準等 | 教員評価分80% (定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP 20%, e-learningの評価 (1) 語彙力養成のために、Power Wordsの指定されたレベル の50ユニットを15週で修了すること※10%(2) 総合的英語力養成のために、3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること※10% | |
| 受講要件 (履修条件) | 毎回予習をして授業に臨むこと、10回以上の出席 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | 授業中に指示 | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011007 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T3) | | |
| 編集担当教員 | 古場 なおみ | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 古場 なおみ | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 古場 なおみ | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-42 | | |
| 対象学生（クラス等） | (T3) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | kobaknke@yahoo.co.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 講義の前後 | | |
| 授業のねらい | （1）世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。（2）アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 講義形式でテキストを進める。 | | |
| 授業到達目標 | 国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | 自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 | |
| | 2 | CNN Student News Unit 1 | |
| | 3 | CNN Student News Unit 1,3 | |
| | 4 | CNN Student News Unit 3 | |
| | 5 | CNN Student News Unit 5 | |
| | 6 | CNN Student News Unit 5,7 | |
| | 7 | CNN Student News Unit 7 | |
| | 8 | CNN Student News Unit 9 | |
| | 9 | CNN Student News Unit 9,11 | |
| | 10 | CNN Student News Unit 11 | |
| | 11 | CNN Student News Unit 13 | |
| | 12 | CNN Student News Unit 13, 15 | |
| | 13 | G-TELP | |

| | | |
|-------------|--|--------------------------|
| | 14 | CNN Student News Unit 15 |
| | 15 | CNN Student News Review |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | CNN Student News (Asahi Press) | |
| 成績評価の方法・基準等 | 教員評価分80% (定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP 20%, e-learningの評価 (1) 語彙力養成のために、Power Wordsの指定されたレベル の50ユニットを15週で修了すること※10%(2) 総合的英語力養成のために、3 STEP CALL System を15週で15時間以上学修すること※10% | |
| 受講要件 (履修条件) | 毎回予習をして授業に臨むこと、10回以上の出席 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | 授業中に指示 | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 月 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011008 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(P2) | | |
| 編集担当教員 | 井石 哲也 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 井石 哲也 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 井石 哲也 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-43 | | |
| 対象学生（クラス等） | (P2) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | iseki@kwassui.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | 095-822-4107(内線257) | | |
| 担当教員オフィスアワー | 授業前後に授業を実施している教室で受付けます。 | | |
| 授業のねらい | 英語読解力養成と聞き取り（イギリス英語の会話表現等）、イギリス文化理解 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 使用テキストの英文（400語前後）を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。 | | |
| 授業到達目標 | 英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。 | | |
| 授業内容 | 第1回 受講上の注意、テキストの使用法（第1章をサンプルとして）と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、13回目の授業でG-TELP（共通テスト）を実施し、結果を評価の一部にあてる。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real | |
| | 2 | Chapter 2: Exporting Sport | |
| | 3 | Chapter 3: Literature:The Reading Boom | |
| | 4 | Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes | |
| | 5 | Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity | |
| | 6 | Chapter 6: Population: Food for Thought | |
| | 7 | Chapter 7: Antiques:Older is Often Better | |
| | 8 | Chapter 8: Smoke-free Britain | |
| | 9 | Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals | |
| 10 | Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives | | |

| | | |
|-------------|----|---|
| | 11 | G-Telp 実施日 |
| | 12 | Chapter 11: Structures of the Millennium |
| | 13 | Chapter 13: Education in the UK |
| | 14 | Chapter 14: Superstition and Beliefs |
| | 15 | Chapter 15: Pedal Power |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | | Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido) |
| 成績評価の方法・基準等 | | 定期試験50点、G-TELP20点、授業における発表等10%、課外学習のe-learning 20点の配点とする。 |
| 受講要件（履修条件） | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|-------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 月 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011009 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(F(英2)) | | |
| 編集担当教員 | 井石 哲也 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 井石 哲也 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 井石 哲也 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-43 | | |
| 対象学生（クラス等） | (F (英2)) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | iseki@kwassui.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | 095-822-4107(内線257) | | |
| 担当教員オフィスアワー | 活水授業前後に授業を実施している教室で受け付けます。 | | |
| 授業のねらい | 英語読解力、英作文、および聞き取り（イギリス英語の会話表現等）、イギリス文化理解 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 使用テキストの英文を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、英作文および聞き取りの能力を養成する。 | | |
| 授業到達目標 | 英語力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。 | | |
| 授業内容 | 第1回 受講上の注意、テキストの使用法（第1章をサンプルとして）と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、11回目の授業でG-TELP（共通テスト）を実施し、結果を評価の一部にあてる。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 導入・テキスト: London | |
| | 2 | My Family | |
| | 3 | Peter's Job | |
| | 4 | Unemployed | |
| | 5 | An Interview | |
| | 6 | First Impressions | |
| | 7 | UK and Japan | |
| | 8 | Pete's Summer | |
| | 9 | Shopping | |
| 10 | On the Phone | | |

| | | |
|-------------|----|---|
| | 11 | G-Telp 実施日 |
| | 12 | Kate's Presentation |
| | 13 | In the Office |
| | 14 | Party Time |
| | 15 | まとめ |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | | Terry O'Brien, Pete and Kate: Life in Britain and Japan (Nan'un-Do, 2013) |
| 成績評価の方法・基準等 | | 定期試験50点、G-TELP20点、授業における発表等10%、課外学習のe-learning 20点の配点とする。 |
| 受講要件（履修条件） | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|---|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 月 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011010 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(F(英3)) | | |
| 編集担当教員 | 大坪 有実 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 大坪 有実 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 大坪 有実 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養B棟]B-15 | | |
| 対象学生（クラス等） | (F (英3)) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | r_otsubo@hotmail.co.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 水曜 12:00~12:45 | | |
| 授業のねらい | 何が話題になっているのか、正確に読み取り、それについて自分はどう考えるか、自分の考えを述べられるようになることをねらいとする。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 1回の授業で1Unit進む。 前半は、既習文法を再確認しながら英文読解。 後半は、各トピックに関する設問解答。リスニング。 | | |
| 授業到達目標 | 既習文法等を再確認し、英文を読む上で必要な文法等をしっかりと身につける。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learningについて | |
| | 2 | Nuclear Rescue Robots | |
| | 3 | Dr.Henry's Dilemma | |
| | 4 | Human Experimentation | |
| | 5 | Professional Responsibility | |
| | 6 | Changing a Dream | |
| | 7 | Made "with" Japan | |
| | 8 | Eco Energy | |
| | 9 | Specialist or Politician? | |
| | 10 | To Err is Human | |
| | 11 | G-TELP | |
| | 12 | No Water? Technology to the Rescue! | |

| | | |
|-------------|---|--|
| | 13 | The Dedication of an Oyster Fisherman Saves a Forest |
| | 14 | Foundation of Science Crumbling |
| | 15 | The Kanemi Yusho Incident |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | Explore 三修社 ￥1,700+税 | |
| 成績評価の方法・基準等 | 授業60%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 | |
| 受講要件 (履修条件) | 授業で発表してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|---|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011011 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E3) | | |
| 編集担当教員 | 大坪 有実 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 大坪 有実 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 大坪 有実 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-23 | | |
| 対象学生（クラス等） | (E3) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | r_otsubo@hotmail.co.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 水曜 12:00~12:45 | | |
| 授業のねらい | 日本を代表する企業の取り組み等を見て、各企業について、理解を深め、自身で各企業について語ることができることをねらいとする。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 1回の授業で1chapter進む。 前半は既習文法等を確認しながら、英文読解。 後半は設問解答。リスニング。 | | |
| 授業到達目標 | 英文読解による英文を読む力をつけるだけでなく、企業用語、経済用語も身につけることを目標とする。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learningについて | |
| | 2 | アサヒグループホールディングス株式会社 | |
| | 3 | キャノン株式会社 | |
| | 4 | KDDI株式会社 | |
| | 5 | シチズンホールディングス株式会社 | |
| | 6 | スズキ株式会社 | |
| | 7 | 積水ハウス株式会社 | |
| | 8 | 株式会社セブン-イレブン・ジャパン | |
| | 9 | 大正製薬ホールディングス株式会社 | |
| | 10 | 豊田通商株式会社 | |
| | 11 | 日本金銭機械株式会社 | |

| | | |
|-------------|---|-------------|
| | 12 | 株式会社日本経済新聞社 |
| | 13 | HOYA株式会社 |
| | 14 | G-TELP |
| | 15 | マブチモーター株式会社 |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | Leading the Way: Major Japanese Corporations 南雲堂 2,100円 | |
| 成績評価の方法・基準等 | 授業60%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 | |
| 受講要件 (履修条件) | 授業で発表してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |





タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|---|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011012 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(L1) | | |
| 編集担当教員 | 大坪 有実 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 大坪 有実 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 大坪 有実 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-23 | | |
| 対象学生（クラス等） | (L1) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | r_otsubo@hotmail.co.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 水曜 12:00~12:45 | | |
| 授業のねらい | 英字新聞の構成を把握し、新聞を読み、何が書かれているか、正確に読むコツをつかむことをねらいとする。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 1回の授業で1 Lesson読む。 前半は既習文法を再確認しながら、英文読解。 後半は各Lessonの設問解答。リスニング。 | | |
| 授業到達目標 | 英字新聞を読むコツを習得し、英文をより早く、そして正確に読めるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Introduction 授業の進め方・諸注意 e-learningについて | |
| | 2 | Educators Work to Close Language Gap | |
| | 3 | Chinese Students Make Mark | |
| | 4 | Takeda to Require 730 TOEIC Scores of New Hires | |
| | 5 | Rolling Out the Welcome Mat | |
| | 6 | Multilingual Signs Announce Smoking Ban | |
| | 7 | Lower Language Barrier for Caregivers from Overseas | |
| | 8 | DORAEMON:Robocat for the Ages | |
| | 9 | The Mixing of Cultures behind a European Version of the Hina Doll | |
| | 10 | Japanese Food Wins over Foreign Epicures | |
| | 11 | Koyasan Gains from Heritage, Michelin Status | |
| | 12 | Jesse's Legacy:An Almost Open Sport | |

| | | |
|-------------|---|--|
| | 13 | Actor Plays 2 Roles in S.Korea |
| | 14 | G-TELP |
| | 15 | China Seeks to Skate Its Claim Files for Bullet-Train Patents in Japan, 4 Other Countries |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | Cross-Cultural Understanding through The Daily Yomiuri 英宝社 ￥1,800+税 | |
| 成績評価の方法・基準等 | 授業60%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 | |
| 受講要件 (履修条件) | 授業で発表してもらいますので、しっかり予習をして授業に臨んでください。また、辞書を持参してください。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|-------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水 2 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011013 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T6) | | |
| 編集担当教員 | 中村 史花 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 中村 史花 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 中村 史花 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-42 | | |
| 対象学生（クラス等） | (T6) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること) | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 水曜昼休み | | |
| 授業のねらい | ジャパントイズに連載された日本を紹介するコラム記事を読み、日本文化の新たな側面を知る。また、日本の現状を客観的に見る目を養う。高校までに学習してきた基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を読み・聞く訓練をする。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説する。 | | |
| 授業到達目標 | 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。 | | |
| 授業内容 | <p>英字新聞連載の日本を紹介するコラムを読む。CDを聞き、英語の音声に慣れ、情報を適切に入手する訓練をする。ディクテーション・音読練習をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. 和菓子vs洋菓子(1) 3. 和菓子vs洋菓子(2) 4. ワイプ 5. ホワイトデー 6. コインの穴 7. 遠足 8. マンホールの蓋 9. 耳掻き 10. 音読 11. のし袋 12. 橋名 13. 発表(1) 14. G-TELP 15. 発表(2) | | |

| | |
|-------------|---|
| | 16. 定期試験 |
| キーワード | 英字新聞、コラム、リスニング、音読 |
| 教科書・教材・参考書 | Alice Gordenker 『Surprising Japan!』 松柏社 1900円(税別)*初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。 |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験40%、課題10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 |
| 受講要件 (履修条件) | 3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。 |
| 本科目の位置づけ | |
| 学習・教育目標 | |
| 備考 (URL) | |
| 備考 (準備学習等) | 授業には必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。内容がよくつかめないときには何がわからないのかを明らかにさせてきてください。最初はなかなか聞き取れなくても徐々に耳が慣れていきます。何度も繰り返し聞き、声に出す練習をしましょう。 |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|-------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011014 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E4) | | |
| 編集担当教員 | 中村 史花 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 中村 史花 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 中村 史花 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-42 | | |
| 対象学生（クラス等） | (E4) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目、学生番号、氏名を記入すること) | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 水曜昼休み | | |
| 授業のねらい | ジャパントイズに連載された日本を紹介するコラム記事を読み、日本文化の新たな側面を知る。また、日本の現状を客観的に見る目を養う。高校までに学習してきた基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など、英語を読み・聞く訓練をする。それぞれの問題のポイントと重要文法事項を解説する。 | | |
| 授業到達目標 | 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。自分が必要とする情報を正しく適切に入手することができる。 | | |
| 授業内容 | 英字新聞連載の日本を紹介するコラムを読む。CDを聞き、英語の音声に慣れ、情報を適切に入手する訓練をする。ディクテーション・音読練習をする。 1. Introduction 2. 和菓子vs洋菓子(1) 3. 和菓子vs洋菓子(2) 4. ワイプ 5. ホワイトデー 6. コインの穴 7. 遠足 8. マンホールの蓋 9. 耳掻き 10. 音読 11. のし袋 12. 橋名 13. 発表(1) 14. G-TELP 15. 発表(2) | | |

| | |
|-------------|---|
| | 16. 定期試験 |
| キーワード | 英字新聞、コラム、リスニング、音読 |
| 教科書・教材・参考書 | Alice Gordenker 『Surprising Japan!』 松柏社 1900円(税別) *初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して出席してください。 |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験40%、課題10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%、E-Learning20%(3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 |
| 受講要件 (履修条件) | 3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。 |
| 本科目の位置づけ | |
| 学習・教育目標 | |
| 備考 (URL) | |
| 備考 (準備学習等) | 授業には必ず辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用不可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。内容がよくつかめないときには何がわからないのかを明らかにさせてきてください。最初はなかなか聞き取れなくても徐々に耳が慣れていきます。何度も繰り返し聞き、声に出す練習をしましょう。 |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水 1 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011015 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E8) | | |
| 編集担当教員 | 稲富 百合子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 稲富 百合子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 稲富 百合子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-41 | | |
| 対象学生(クラス等) | (E8) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | inadomi@fukuoka-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 授業の前後の時間、またはメールにて受け付けます。 | | |
| 授業のねらい | この授業では、英語の4技能のうち特に「読む」・「聴く」の能力を高めていきます。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | この授業では、ナショナルジオグラフィックのDVD映像を活用しながら学習を進めていきます。各自、予習・復習をして授業に臨んでください。 | | |
| 授業到達目標 | <p>リーディングにおいては、速読のスキルを習得し、英語の論理構造やパラグラフ構成に注意しながら、英文の概要や要点を理解することを目指します。リスニングにおいても同様に、スピーチの概要や要点をしっかりと理解できるようになることを目標とします。</p> <p>リーディングでは、各章のテーマに沿った英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。また、リスニングでは、正確な発音を身につけ、内容の大意をつかむ練習と、ディクテーションを行い、細部まで理解を深める練習を行います。</p> <p>なお、テキストの構成は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 事前にトピックに関する情報を確認する (2) DVDに出てくる重要語句を確認する(日本語の意味だけでなく、英語の説明を理解することでその語句の持つニュアンスをより深く知る) (3) 映像を見る前にアクティビティに取り組む (4) 長文を読み、内容を把握したり、話の流れを理解したり、段落の概要をまとめたりする (5) 映像を視聴したり、音声を聞きながら、様々な練習問題に取り組む (6) ディクテーションの練習問題 (7) 語彙や文法項目の練習問題 (8) 各設問について、自分の意見を表現する | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成・英語の音声変化について(プリント教材を配布) | |
| | 2 | Unit 1: A Taste of Mexico | |
| | 3 | Unit 2: Lightning | |

| | | |
|-------------|---|-----------------------------------|
| | 4 | Unit 3: Penguins in Trouble |
| | 5 | Unit 4: Parasomnia |
| | 6 | Unit 5: Maasai Teacher |
| | 7 | Unit 6: Living in Venice |
| | 8 | Unit 7: Tornado Chase |
| | 9 | Unit 8: Treasures in Old San Juan |
| | 10 | Unit 9: Bee Therapy |
| | 11 | Unit 10: Inca Mummy |
| | 12 | Unit 11: Global Warming |
| | 13 | Unit 12: More Water for India |
| | 14 | G-TELP |
| | 15 | Unit 13: Tsunami: Killer Wave |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | [Title] World in Focus [Author] Rebecca Moller [Publisher] センゲージラーニング [ISBN] 978-1-285-19751-7 *参考書については授業中に適時紹介します。 | |
| 成績評価の方法・基準等 | 【教員評価分】 60% < 定期試験40%、授業で実施する小テスト5%、授業への積極的な参加（発表を含む）15% >、 【課外学習のe-learning】 20% < 3 Step CALL 10%、Power Words 10% >、 【G-TELP】 20% とし、これらを総合的に判断して評価する。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 | |
| 受講要件（履修条件） | 原則として全回出席することが求められます。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2,400円(税別) です。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | 授業には必ず辞書を持参してください。 | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|---|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水2 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011016 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T5) | | |
| 編集担当教員 | 稲富 百合子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 稲富 百合子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 稲富 百合子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-41 | | |
| 対象学生(クラス等) | (T5) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | inadomi@fukuoka-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 授業の前後、また、メールにて受け付けます。 | | |
| 授業のねらい | この授業では、英語の4技能のうち特に「読む」・「聴く」の能力を高めていきます。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | この授業では、ナショナルジオグラフィックのDVD映像を活用しながら学習を進めていきます。 | | |
| 授業到達目標 | <p>リーディングにおいては、速読のスキルを習得し、英語の論理構造やパラグラフ構成に注意しながら、英文の概要や要点を理解することを目指します。リスニングにおいても同様に、スピーチの概要や要点をしっかりと理解できるようになることを目標とします。</p> | | |
| 授業内容 | <p>リーディングでは、各章のテーマに沿った英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。また、リスニングでは、正確な発音を身につけ、内容の大意をつかむ練習と、ディクテーションを行い、細部まで理解を深める練習を行います。</p> <p>なお、テキストの構成は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 事前にトピックに関する情報を確認する。 (2) DVDに出てくる重要語句を確認する(日本語の意味だけでなく、英語の説明を理解することでその語句の持つニュアンスをより深く知る) (3) 映像を見る前にアクティビティに取り組む (4) 長文を読み、内容を把握したり、話の流れを理解したり、段落の概要をまとめたりする (5) 映像を視聴したり、音声を聴きながら、様々な練習問題に取り組む (6) ディクテーションの練習問題 (7) 語彙や文法項目の練習問題 (8) 各設問について、自分の意見を表現する | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方の説明)、英語の文章構成や英語の音声変化について(プリント教材を配布) | |
| | 2 | Unit 1: A Taste of Mexico | |
| 3 | Unit 2: Lightning | | |

| | | |
|-------------|---|-----------------------------------|
| | 4 | Unit 3: Penguins in Trouble |
| | 5 | Unit 4: Parasomnia |
| | 6 | Unit 5: Maasai Teacher |
| | 7 | Unit 6: Living in Venice |
| | 8 | Unit 7: Tornado Chase |
| | 9 | Unit 8: Treasures in Old San Juan |
| | 10 | Unit 9: Bee Therapy |
| | 11 | Unit 10: Inca Mummy |
| | 12 | Unit 11: Global Warming |
| | 13 | Unit 12: More Water for India |
| | 14 | G-TELP |
| | 15 | Unit 13: Tsunami: Killer Wave |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | [Title] World in Focus [Author] Rebecca Moller [Publisher] センゲージラーニング [ISBN] 978-1-285-19751-7 *参考書については、授業中に適時紹介します。 | |
| 成績評価の方法・基準等 | 【教員評価分】 60% < 定期試験 40%、授業で実施する小テスト 5%、授業への積極的な参加（発表を含む） 15% >、【課外学習のe-learning】 20% < 3 Step CALL 10%、Power Words 10% >、【G-TEIP】 20% とし、これらを総合的に判断し評価する。課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 | |
| 受講要件（履修条件） | 原則として全回出席することが求められます。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2,400円（税別）です。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | 授業には必ず辞書を持参してください。 | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|---|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011017 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T8) | | |
| 編集担当教員 | 濱崎 大 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 濱崎 大 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 濱崎 大 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-41 | | |
| 対象学生(クラス等) | (T8) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | mohican007@hotmail.com 欠席報告は後日、届けを提出してください。 | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 非常勤講師室在中可 | | |
| 授業のねらい | 日常英会話に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、パターンで覚えるのではなく、その場の状況を判断しながら日本語訳、英語訳に向かう対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 | | |
| 授業到達目標 | 日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。 | | |
| 授業内容 | 授業内容(概要): Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは健康問題について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得します。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 10月4日 第1回 Introduction | |
| | 2 | 10月11日 第2回 Unit 1 Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas | |
| | 3 | 10月18日 第3回 Unit 2 Bird Flu May Have Passed Between Siblings | |
| | 4 | 10月25日 第4回 Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training | |
| | 5 | 11月1日 第5回 Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young | |
| | 6 | 11月8日 第6回 Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows | |
| 7 | 11月15日 第7回 Unit 6 New Alcohol-Flavored Biscuits Not to Everyone's Taste | | |

| | | |
|-------------|---|---|
| | 8 | 11月29日 第8回 Unit 7 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease |
| | 9 | 12月6日 第9回 Unit 8 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure |
| | 10 | 12月13日 第10回 Unit 9 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise |
| | 11 | 12月20日 第11回 Unit 10 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads |
| | 12 | 12月27日 第12回 Unit 11 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks |
| | 13 | 1月10日 第13回 G-TELP |
| | 14 | 1月23日 第14回 Unit 12 Fitness: How Much Water Is Enough Curing Exercise? (日程変更の可能性有) |
| | 15 | 1月24日 第15回 Unit 13 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114 (日程変更の可能性有) |
| | 16 | 2月7日 第16回 Final Examination (日程変更の可能性有) |
| キーワード | スキミング、スキャニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング | |
| 教科書・教材・参考書 | Reading from Health and Nutrition News 金星堂 各自持っている参考書、辞書 (英和、和英) | |
| 成績評価の方法・基準等 | Class Attendance and Participation: 15% G-TELPテスト 20% 課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45% | |
| 受講要件 (履修条件) | 全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | G-TELPテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。 | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|-------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011018 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T9) | | |
| 編集担当教員 | 宇佐美 康子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 宇佐美 康子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 宇佐美 康子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-22 | | |
| 対象学生（クラス等） | (T9) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | usamikan@fsinet.or.jp | | |
| 担当教員研究室 | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 金曜日、2限から3限 | | |
| 授業のねらい | 今まで培ってきた一文一文を正確に読む力を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで大意が取れるようにする。同時にある点についての情報をできるだけ正確にとる練習もする。また、聴解、発話の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を充実させる。。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | テキストは、NATIONAL GEOGRAPHIC が CENGAGE Learning と組んで出している WORLD ENGLISH 3B (CD-ROM 付き) を用いる。このテキストは、各ユニットが、A(Vocabulary, Conversation), B(Listening, Communication, Pronunciation), C(Language Expansion, Grammar, Conversation), D(Reading, Writing), E(Video)の5つに分かれているが、各ユニットを A,B,C と D,E とに分け、2回をかけて学習する。CD-ROM の特に音声フルに活用して勉強する。適宜、巻末のワークブック、配布プリントで補強する。復習と予習をきちんとし、成果が上がるよう努力してください。 | | |
| 授業到達目標 | TOEIC 500点から600点程度の英文を、ある程度の速さ、ある程度の正確さで読むことができるようにする。必要な場合には英文をできる限り正確に読む。正確な英文理解のために基本文法が適用できる。文脈に応じて語彙の解釈ができる。日本語を介せずに英文が理解できる。基本的な英語会話の聴解と発話ができる。 | | |
| | 授業の最初は、英語構文あるいは英作文、さらに英単語の小テストを行う。 その後、リーディングの練習をする。学生は指示された範囲や内容を、テキストについているCDを使いながら必ず家庭で予習して授業に参加すること。ここでは、音読の練習も行う。各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、将来、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切なので、手を抜かずに努力すること。次に、精読の成果を確認し、文法確認や英作文などを行う。また、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をする。 適宜プリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディングの強化を行う。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要で | | |

| 授業内容 | す。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力によって必ず英語の力は向上します。がんばってください。 | |
|-------------|--|------------------------------------|
| | 回 | 内容 |
| | 1 | イントロダクション、Unit 7 Getting Around, A |
| | 2 | Unit 7 Getting Around, B, C |
| | 3 | Unit 7 Getting Around, D, E |
| | 4 | Unit 8 Competition, A, B, C |
| | 5 | Unit 8 Competition, D, E |
| | 6 | Unit 9 Danger, A, B, C |
| | 7 | Unit 9 Danger, D, E |
| | 8 | Unit 10 Mysteries, A, B, C |
| | 9 | Unit 10 Mysteries, D, E |
| | 10 | Unit 11 Learning, A, B, C |
| | 11 | Unit 11 Learning, D, E |
| | 12 | Unit 12 Space, A, B, C |
| | 13 | G-TELPテスト |
| | 14 | Unit 12 Space, D, E |
| | 15 | 復習と応用 |
| 16 | 期末試験 | |
| キーワード | スキミング、スキニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング | |
| 教科書・教材・参考書 | WORLD ENGLISH 3B (CENGAGE Learning, CD-ROM 付き, ¥2,321) | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験45%、授業への参加(小テスト含む) 15%、G-TELPテスト 20%、課外学習のe-learning 20% (3 Step CALL 10%、PowerWords10%) 課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 | |
| 受講要件 (履修条件) | 全回出席が原則。教科書を購入して第一回目に臨むこと。第一回目からすぐに授業に入ります。 | |
| 本科目の位置づけ | 英語は現在事実上、世界の第一共通言語になっている。そのため、第一線の情報を迅速に得るには、英語のスキルが必要になっている。英語の授業を、英語の実力向上に最大限役立ててもらいたい。 | |
| 学習・教育目標 | 英語を楽しんでもらいたい。 できるだけ知的に興味の持てる教材を用意するつもりなので、学生も授業に積極的に参加してほしい。 | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | 毎回小テストをする。これは、授業の復習になり好評である。予習して授業に臨むことが原則。 | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|------------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 火3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011019 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E7) | | |
| 編集担当教員 | 稲田 俊明 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 稲田 俊明 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 稲田 俊明 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-32 | | |
| 対象学生（クラス等） | (E7) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | inadat@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2379 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火曜2限（事前にメールで連絡すること） | | |
| 授業のねらい | ① 英文読解力と英文要約（英文を日本語と英語で要約する力）を養う。 ② 語彙力とリスニング能力を養う。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 配布する教材を使って、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テスト、隔週、課題の提出を求める。 | | |
| 授業到達目標 | 英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で論じる基礎的な英文のライティング能力を身に付ける。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Course Outline (導入) | |
| | 2 | 速読教材: 教材は第1時間目に配布 | |
| | 3 | 速読教材: 教材は第1時間目に配布 | |
| | 4 | Listening Comprehension Quiz (第1回) | |
| | 5 | Textbook: News Media の英語 (1) | |
| | 6 | Textbook: News Media の英語 (2) | |
| | 7 | Listening Comprehension Quiz (第2回) | |
| | 8 | Textbook: News Media の英語 (3) | |
| | 9 | Textbook: News Media の英語 (4) | |
| | 10 | Listening Comprehension Quiz (第3回) | |
| 11 | Textbook: News Media の英語 (5) | | |

| | | |
|-------------|--|------------------------------|
| | 12 | Textbook: News Media の英語 (6) |
| | 13 | G-TELP実施 |
| | 14 | 英文課題作文 (1) |
| | 15 | 英文課題作文 (2) |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | ABC World News 15 (DVDで学ぶABCニュースの英語15) 金星堂 その他の教材は随時配布する | |
| 成績評価の方法・基準等 | 出席10%、 G-TELP 20%、 e-learning 教材 1(Power Words) 10% e-learning 教材 2(3-STEP) 10% 授業中の課題10%、 期末テスト40% | |
| 受講要件 (履修条件) | 同クラスの履修経験のないもの | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | 課題に能動的に取り組むことにより、英語力を伸ばし、自らの可能性を広げる。 | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | 事前に、教科書の音声データをダウンロードして、十分に理解しておくこと | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|------------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011020 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(L4) | | |
| 編集担当教員 | 稲田 俊明 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 稲田 俊明 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 稲田 俊明 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-33 | | |
| 対象学生（クラス等） | (L4) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | inadat@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2379 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火曜2限(事前にメールで連絡すること) | | |
| 授業のねらい | ① 英文読解力と英文要約（英文を日本語と英語で要約する力）を養う。 ② 語彙力とリスニング能力を養う。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 配布する教材を使って、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 毎週、語彙テスト、隔週、課題の提出を求める。 | | |
| 授業到達目標 | 英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で論じる基礎的な英文のライティング能力を身に付ける。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Course Outline (導入) | |
| | 2 | 速読教材: 教材は第1時間目に配布 | |
| | 3 | 速読教材: 教材は第1時間目に配布 | |
| | 4 | Listening Comprehension Quiz (第1回) | |
| | 5 | Textbook: News Media の英語 (1) | |
| | 6 | Textbook: News Media の英語 (2) | |
| | 7 | Listening Comprehension Quiz (第2回) | |
| | 8 | Textbook: News Media の英語 (3) | |
| | 9 | Textbook: News Media の英語 (4) | |
| | 10 | Listening Comprehension Quiz (第3回) | |
| 11 | Textbook: News Media の英語 (5) | | |

| | | |
|-------------|--|------------------------------|
| | 12 | Textbook: News Media の英語 (6) |
| | 13 | G-TELP実施 |
| | 14 | 英文課題作文 (1) |
| | 15 | 英文課題作文 (2) |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | ABC World News 15 (DVDで学ぶABCニュースの英語15) 金星堂 その他の教材は随時配布する | |
| 成績評価の方法・基準等 | 出席10%、 G-TELP 20%、 e-learning 教材 1(Power Words) 10% e-learning 教材 2(3-STEP) 10% 授業中の課題10%、 期末テスト40% | |
| 受講要件 (履修条件) | 同クラスの履修経験のないもの | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | 課題に能動的に取り組むことにより、英語力を伸ばし、自らの可能性を広げる。 | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|-----------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 木 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011021 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(M1) | | |
| 編集担当教員 | 稲田 俊明 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 稲田 俊明 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 稲田 俊明 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-14 | | |
| 対象学生（クラス等） | (M1) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | inadat@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2379 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火曜 2 限（事前にメールで連絡すること） | | |
| 授業のねらい | ① 英語の読解力と日本語・英語による要約する能力を養う。 ② 課題について英語で論述する力を養う。 ③ 英文のリスニングの能力を養う。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | ① 指定した教材により、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 ② 毎週、語彙テストを行い、隔週、課題の提出を求める。 | | |
| 授業到達目標 | ① 英語の論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 ② 英語の論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 ③ 課題について、英語で議論するための基礎的なライティング能力を身に付ける。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | COURSE OUTLINE（導入）：教材配布 | |
| | 2 | 英文速読教材（1） | |
| | 3 | 英文速読教材（2） | |
| | 4 | Listening Comprehension Quiz（第1回） | |
| | 5 | 英文要約教材（1） | |
| | 6 | 英文要約教材（2） | |
| | 7 | Listening Comprehension Quiz（第2回） | |
| | 8 | 大学新聞の英語（1） | |
| | 9 | 大学新聞の英語（2） | |
| | 10 | Listening Comprehension Quiz（第3回） | |
| 11 | 英文手紙の基礎と練習 | | |

| | | |
|-------------|---|---------------|
| | 12 | 英文交渉メールの基礎と練習 |
| | 13 | G-TELP (Test) |
| | 14 | 課題作文練習 (1) |
| | 15 | 課題作文練習 (2) |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | 教材は授業で配布する。 | |
| 成績評価の方法・基準等 | 出席 10%、 G-TELP 20% 指定する e-learning 教材 20% 授業中の課題 10%、 期末テスト 40% | |
| 受講要件 (履修条件) | 同クラスの履修経験のないもの | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | 課題に能動的に取り組むことにより、英語力を伸ばし、自らの可能性を広げる。 | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | 事前に、教科書の音声データをダウンロードして、十分に理解しておくこと | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|----------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水2 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011022 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(K3) | | |
| 編集担当教員 | 松田 雅子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 松田 雅子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 松田 雅子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-35(call1) | | |
| 対象学生（クラス等） | (K3) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 環境科学部4階454 | | |
| 担当教員TEL | 819-2740 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 月曜日16:00-17:00 | | |
| 授業のねらい | 1) スピーキング力、リスニング力をつける 2) 英語で自分の意見を言えるようになる | | |
| 授業方法（学習指導法） | リスニング、リピーティング、スピーキング、ペアワーク | | |
| 授業到達目標 | 英語のスピーキング力をつける | | |
| 授業内容 | 1) 日本語は音節が約100、英語は約3000である。英語を話すことができるようになるためには、実際に口を動かして発音の型を学ぶ必要がある。声を出して練習しレコーダーに録音する。 2) いろいろなトピックに浮いて、ペアで話し合う。 3) 英語のスピーキングテストの準備を行う。 4) G-TELP筆記試験とスピーキングテストを受ける。 5) 自宅で 3 Step Call System を15時間聞く。 6) 自宅でPower Wordsのレベル3を行う。 7) トイックの練習問題をやる | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション、1-4課 | |
| | 2 | 5-8課 | |
| | 3 | 9-12課 | |
| | 4 | 13-16課 | |
| | 5 | 17-20課 | |
| | 6 | 21-24課 | |
| | 7 | 25-28課 | |
| 8 | 29-32課 | | |

| | | |
|-------------|---|-----------|
| | 9 | 33-36課 |
| | 10 | 37-40課 |
| | 11 | 41-44課 |
| | 12 | 44-48課 |
| | 13 | G-TELPテスト |
| | 14 | 49-50課 |
| | 15 | スピーキングテスト |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | スピーキング力、レコーディング、リスニング、語彙力養成 | |
| 教科書・教材・参考書 | 英会話なるほど練習帳（アルク、2001） 副教材：Just Like a Movie | |
| 成績評価の方法・基準等 | ○定期試験50%、G-TELP筆記試験20%、レコーディング宿題10%、3step Call System 10%、Power Words 10% 英語カフェ、トイッククラスに参加すれば加点します | |
| 受講要件（履修条件） | 宿題を毎日やること。 | |
| 本科目の位置づけ | スピーキングは英語学習の基礎である。ここからスタートし、リスニングリーディングと進めば上達します | |
| 学習・教育目標 | 話せる英語を身につけて、将来に備えよう。 | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | 自宅学習に力を入れ、学習の習慣を身につける | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|----------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011023 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(K2) | | |
| 編集担当教員 | 松田 雅子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 松田 雅子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 松田 雅子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-35(call1) | | |
| 対象学生（クラス等） | (K2) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 環境科学部4階454 | | |
| 担当教員TEL | 819-2740 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 月曜日16:00-17:00 | | |
| 授業のねらい | 1) 英語のスピーキング力、リスニング力をつける 2) 英語で自分の意見を言えるようになる | | |
| 授業方法（学習指導法） | リスニング、レコーディング、スピーキング、ペアワーク | | |
| 授業到達目標 | 英語でのスピーキング力をつける | | |
| 授業内容 | 1) 日本語は音節が約100、英語は約3000なので、日本人はよく口を動かして、発音の型を学ぶ必要がある。声を出して練習し、録音する。 2) いろいろなトピックについて、ペアで話をする。その後その話題についてエッセイを書く 3) 副読本を読んで、内容と感想を英語でまとめる 4) 英語のスピーキングテストの準備を行う 5) G-TELP筆記試験を受ける 6) 3 Step CallSystem とWord Powerを自宅で学習する 7) トピックの練習問題をする | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション、1-4課 | |
| | 2 | 5-8課 | |
| | 3 | 9-12課 | |
| | 4 | 13-16課 | |
| | 5 | 17-20課 | |
| | 6 | 21-24課 | |
| | 7 | 25-28課 | |
| | 8 | 29-32課 | |

| | | |
|-------------|--|------------|
| | 9 | 33-36課 |
| | 10 | 37-40課 |
| | 11 | 41-44課 |
| | 12 | 45-48課 |
| | 13 | G-TELP筆記試験 |
| | 14 | 49-50課 |
| | 15 | スピーキングテスト |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | 英語のスピーキング、ペアワーク、リスニング、語彙力養成 | |
| 教科書・教材・参考書 | 英会話なるほど練習帳（アルク、2000） 副教材：Just Like a Movie（ケンブリッジ） | |
| 成績評価の方法・基準等 | ○定期試験50%、G-TELP筆記試験20%、レコーディング宿題10%、3 Step Call System10%、 Word Power 10% 英語カフェ、トイッククラスに参加すれば加点します | |
| 受講要件（履修条件） | 宿題を毎日やること | |
| 本科目の位置づけ | スピーキングは英語学習の基礎である。ここからスタートし、リスニング、リーディングと進めば上達します | |
| 学習・教育目標 | 話せる英語を身につけて、将来に備えよう。 | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | 自宅学習をしっかりと行い、学習の習慣をつける | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 月 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011024 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(F(英1)) | | |
| 編集担当教員 | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 廣江 顕 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-36(call2) | | |
| 対象学生(クラス等) | (F(英1)) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | ahiroe@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階) | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2378 | | |
| 担当教員オフィスアワー | メールにより随時受け付ける | | |
| 授業のねらい | 精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになる基礎を培う。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | 授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。 | | |
| 授業到達目標 | まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明 | |
| | 2 | Listening 1, プリント教材(1) | |
| | 3 | Listening 2, プリント教材(1) | |
| | 4 | Listening 3, プリント教材(1) | |
| | 5 | Listening 4, プリント教材(2) | |
| | 6 | Listening 5, プリント教材(2) | |
| | 7 | Listening 6, プリント教材(2) | |
| | 8 | Listening 7, プリント教材(3) | |
| | 9 | Listening 8, プリント教材(3) | |
| | 10 | Listening 9, プリント教材(3) | |
| | 11 | G-TELP | |
| | 12 | Listening 10, プリント教材(4) | |
| | 13 | Listening 11, プリント教材(4) | |

| | | |
|-------------|--|-------------------------|
| | 14 | Listening 12, プリント教材(4) |
| | 15 | まとめ |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | rapid reading, listening, e-learning materials | |
| 教科書・教材・参考書 | プリント教材, 参考書等は授業時に指示する | |
| 成績評価の方法・基準等 | リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%) | |
| 受講要件 (履修条件) | | |
| 本科目の位置づけ | 総合英語Ⅰで培った英語力をさらに発展させる機会とし、自学自習を基本とした形での取り組みを日常化してもらいたい | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 木 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011025 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(D1・2) | | |
| 編集担当教員 | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 廣江 顕 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養D棟]D-27 | | |
| 対象学生(クラス等) | (D1・2) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | ahiroe@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階) | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2378 | | |
| 担当教員オフィスアワー | メールにより随時受け付ける | | |
| 授業のねらい | 精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになる基礎を培う。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | 授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。 | | |
| 授業到達目標 | まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明 | |
| | 2 | Listening 1, プリント教材(1) | |
| | 3 | Listening 2, プリント教材(1) | |
| | 4 | Listening 3, プリント教材(1) | |
| | 5 | Listening 4, プリント教材(2) | |
| | 6 | Listening 5, プリント教材(2) | |
| | 7 | Listening 6, プリント教材(2) | |
| | 8 | Listening 7, プリント教材(3) | |
| | 9 | Listening 8, プリント教材(3) | |
| | 10 | Listening 9, プリント教材(3) | |
| | 11 | Listening 10, プリント教材(4) | |
| | 12 | Listening 11, プリント教材(4) | |
| | 13 | Listening 12, プリント教材(4) | |

| | | |
|-------------|--|--------|
| | 14 | G-TELP |
| | 15 | まとめ |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | rapid reading, listening, e-learning materials | |
| 教科書・教材・参考書 | プリント教材, 参考書等は授業時に指示する | |
| 成績評価の方法・基準等 | リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%) | |
| 受講要件 (履修条件) | | |
| 本科目の位置づけ | 総合英語Ⅰで培った英語力をさらに発展させる機会とし、自学自習を基本とした形での取り組みを日常化してもらいたい | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011026 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(M3) | | |
| 編集担当教員 | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 廣江 顕 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-35(call1) | | |
| 対象学生(クラス等) | (M3) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | ahiroe@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階) | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2378 | | |
| 担当教員オフィスアワー | メールにより随時受け付ける | | |
| 授業のねらい | 精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになる基礎を培う。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | 授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。 | | |
| 授業到達目標 | まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明 | |
| | 2 | Listening 1, プリント教材(1) | |
| | 3 | Listening 2, プリント教材(1) | |
| | 4 | Listening 3, プリント教材(1) | |
| | 5 | Listening 4, プリント教材(2) | |
| | 6 | Listening 5, プリント教材(2) | |
| | 7 | Listening 6, プリント教材(2) | |
| | 8 | Listening 7, プリント教材(3) | |
| | 9 | Listening 8, プリント教材(3) | |
| | 10 | Listening 9, プリント教材(3) | |
| | 11 | Listening 10, プリント教材(4) | |
| | 12 | Listening 11, プリント教材(4) | |
| | 13 | G-TELP | |

| | | |
|-------------|--|-------------------------|
| | 14 | Listening 12, プリント教材(4) |
| | 15 | まとめ |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | rapid reading, listening, e-learning materials | |
| 教科書・教材・参考書 | プリント教材, 参考書等は授業時に指示する | |
| 成績評価の方法・基準等 | リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%) | |
| 受講要件 (履修条件) | | |
| 本科目の位置づけ | 総合英語Ⅰで培った英語力をさらに発展させる機会とし、自学自習を基本とした形での取り組みを日常化してもらいたい | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011027 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T1) | | |
| 編集担当教員 | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 廣江 顕 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 廣江 顕 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-32 | | |
| 対象学生(クラス等) | (T1) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | ahiroe@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階) | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2378 | | |
| 担当教員オフィスアワー | メールにより随時受け付ける | | |
| 授業のねらい | 精読から脱皮し、速読の基礎的な技能を身につけ、論理的に大意を素早くまとめるようになる基礎を培う。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | 授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。 | | |
| 授業到達目標 | まとまった英文を大意をつかみながら、速読ができるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Introduction, Sample Listening test, E-learning教材の説明 | |
| | 2 | Listening 1, プリント教材(1) | |
| | 3 | Listening 2, プリント教材(1) | |
| | 4 | Listening 3, プリント教材(1) | |
| | 5 | Listening 4, プリント教材(2) | |
| | 6 | Listening 5, プリント教材(2) | |
| | 7 | Listening 6, プリント教材(2) | |
| | 8 | Listening 7, プリント教材(3) | |
| | 9 | Listening 8, プリント教材(3) | |
| | 10 | Listening 9, プリント教材(3) | |
| | 11 | Listening 10, プリント教材(4) | |
| | 12 | Listening 11, プリント教材(4) | |
| | 13 | G-TELP | |

| | | |
|-------------|--|-------------------------|
| | 14 | Listening 12, プリント教材(4) |
| | 15 | まとめ |
| | 16 | 定期試験 |
| キーワード | rapid reading, listening, e-learning materials | |
| 教科書・教材・参考書 | プリント教材, 参考書等は授業時に指示する | |
| 成績評価の方法・基準等 | リスニング(20%), 3Step CALL System(10%), Power Words(10%), G-TELP(20%), 定期試験(40%) | |
| 受講要件 (履修条件) | | |
| 本科目の位置づけ | 総合英語Ⅰで培った英語力をさらに発展させる機会とし、自学自習を基本とした形での取り組みを日常化してもらいたい | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|---------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 火3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011028 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E6) | | |
| 編集担当教員 | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 奥田 阿子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-45(call3) | | |
| 対象学生（クラス等） | (E6) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | a-okuda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 質問受付時間：火曜日4限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可 | | |
| 授業のねらい | 英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成する。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。 | | |
| 授業到達目標 | 各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、フレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニングが出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション | |
| | 2 | 教材の説明、学習方法の説明 | |
| | 3 | 小テスト、グループワーク | |
| | 4 | 小テスト、グループワーク | |
| | 5 | 小テスト、グループワーク | |
| | 6 | 小テスト、グループワーク | |
| | 7 | 成果発表 | |
| | 8 | 小テスト、グループワーク | |
| | 9 | 小テスト、グループワーク | |
| | 10 | 小テスト、グループワーク | |

| | | |
|-------------|----|---|
| | 11 | 小テスト、グループワーク |
| | 12 | 小テスト、グループワーク |
| | 13 | 小テスト、グループワーク |
| | 14 | G-TELP |
| | 15 | 成果発表 |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | | 3-Step CALL System |
| 成績評価の方法・基準等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、期末試験：30% ・ビデオ撮影、シナリオの作成：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP：20% ・e-learning：20% (PowerWords10%：単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%、リスニング教材の学習時間が15時間を超えること) |
| 受講要件（履修条件） | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | | http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/course/all/call/ |
| 備考（準備学習等） | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|---------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011029 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(L6) | | |
| 編集担当教員 | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 奥田 阿子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-36(call2) | | |
| 対象学生（クラス等） | (L6) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | a-okuda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 質問受付時間：水曜日3限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可 | | |
| 授業のねらい | 英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成する。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。 | | |
| 授業到達目標 | 各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、フレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション | |
| | 2 | 教材の説明、学習方法の説明 | |
| | 3 | 小テスト、グループワーク | |
| | 4 | 小テスト、グループワーク | |
| | 5 | 小テスト、グループワーク | |
| | 6 | 小テスト、グループワーク | |
| | 7 | 成果発表 | |
| | 8 | 小テスト、グループワーク | |
| | 9 | 小テスト、グループワーク | |
| | 10 | 小テスト、グループワーク | |

| | | |
|-------------|--|--------------|
| | 11 | 小テスト、グループワーク |
| | 12 | 小テスト、グループワーク |
| | 13 | 成果発表 |
| | 14 | G-TELP |
| | 15 | 小テスト、グループワーク |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | 3-Step CALL System | |
| 成績評価の方法・基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、期末試験：30% ・ビデオ撮影、シナリオの作成：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP：20% ・e-learning：20% (PowerWords10%：単語の教材のレベルを1 上げること 3-Step CALL System 10%、リスニング教材の学習時間が1 5 時間を超えること) | |
| 受講要件（履修条件） | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/course/all/call/ | |
| 備考（準備学習等） | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|---------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011030 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(K4) | | |
| 編集担当教員 | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 奥田 阿子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-36(call2) | | |
| 対象学生（クラス等） | (K4) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | a-okuda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 質問受付時間：金曜日1限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可 | | |
| 授業のねらい | 英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成する。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。 | | |
| 授業到達目標 | 各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、フレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション | |
| | 2 | 教材の説明、学習方法の説明 | |
| | 3 | 小テスト、グループワーク | |
| | 4 | 小テスト、グループワーク | |
| | 5 | 小テスト、グループワーク | |
| | 6 | 小テスト、グループワーク | |
| | 7 | 成果発表 | |
| | 8 | 小テスト、グループワーク | |
| | 9 | 小テスト、グループワーク | |
| | 10 | 小テスト、グループワーク | |

| | | |
|-------------|--|--------------|
| | 11 | 小テスト、グループワーク |
| | 12 | 小テスト、グループワーク |
| | 13 | G-TELP |
| | 14 | 小テスト、グループワーク |
| | 15 | 成果発表 |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | 3-Step CALL System | |
| 成績評価の方法・基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、期末試験：30% ・ビデオ撮影、シナリオの作成：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP：20% ・e-learning：20% (PowerWords10%：単語の教材のレベルを1 上げること 3-Step CALL System 10%、リスニング教材の学習時間が1 5 時間を超えること) | |
| 受講要件（履修条件） | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/course/all/call/ | |
| 備考（準備学習等） | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|---------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011031 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(T2) | | |
| 編集担当教員 | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 奥田 阿子 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 奥田 阿子 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-36(call2) | | |
| 対象学生（クラス等） | (T2) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | a-okuda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 質問受付時間：金曜日2限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可 | | |
| 授業のねらい | 英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成する。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。 | | |
| 授業到達目標 | 各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、フレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | オリエンテーション | |
| | 2 | 教材の説明、学習方法の説明 | |
| | 3 | 小テスト、グループワーク | |
| | 4 | 小テスト、グループワーク | |
| | 5 | 小テスト、グループワーク | |
| | 6 | 小テスト、グループワーク | |
| | 7 | 成果発表 | |
| | 8 | 小テスト、グループワーク | |
| | 9 | 小テスト、グループワーク | |
| 10 | 小テスト、グループワーク | | |

| | | |
|-------------|---|--------------|
| | 11 | 小テスト、グループワーク |
| | 12 | 小テスト、グループワーク |
| | 13 | G-TELP |
| | 14 | 小テスト、グループワーク |
| | 15 | 成果発表 |
| | 16 | 期末試験 |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | 3-Step CALL System | |
| 成績評価の方法・基準等 | <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、期末試験：30% ・ビデオ撮影、シナリオの作成：30% (自分たちでの評価、他グループからの評価、教員からの評価等) ・G-TELP：20% ・e-learning：20% (PowerWords10%：単語の教材のレベルを1上げること 3-Step CALL System 10%、リスニング教材の学習時間が15時間を超えること) | |
| 受講要件（履修条件） | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/course/all/call/ | |
| 備考（準備学習等） | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011032 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(M6) | | |
| 編集担当教員 | 池田 俊也 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 池田 俊也 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 池田 俊也 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-41 | | |
| 対象学生（クラス等） | (M6) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | t-ikeda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 教育学部本館6階（621号室） | | |
| 担当教員TEL | 819-2092 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 在室時随時 | | |
| 授業のねらい | <p>①総合英語Ⅰで習得した総合的な英語の力をさらに伸ばすこと。とりわけ、reading,writing, listening, speaking の4技能のうち、reading と listening に重点を置く。</p> <p>②reading 指導では、内容に応じて、'oral reading'及び'bottom up'と'topdown'の読解法理論の実践を行う。</p> <p>③listening指導では、テキスト各ユニット内容を問う練習問題で聴解力の向上を目指し、同時にe-ラーニング自学教材活用で効果的な習得を涵養する。</p> | | |
| 授業方法（学習指導法） | <p>①内容に応じて、'paragraph reading'による速読の訓練を行う。内容としてはup-to-date なエッセイを読むが、Unit 毎の内容理解の確認を練習問題を通して行う。読解の要点は学生各自の発表の形でやってもらう。</p> <p>②あわせて、e-learning の効果的な活用を通して、聴解力の向上を図る。</p> | | |
| 授業到達目標 | <p>①要点を的確につかみ取る英語読解力と英語聴解力を身につけること。</p> <p>②e-learningなどの教材を活用して、自学への積極性を持つようになること。</p> | | |
| | 16回目 2月7日 定期試験 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 授業の概要説明。クラスで学ぶことなど。以下の大まかな順番で授業を進める。各ユニットは読解テキストの内容 10月4日:Unit 1, Gorilla Tourism | |
| | 2 | 10月11日:Unit 2,Reducing Poverty in India and Bangladesh | |
| | 3 | 10月18日:Unit 3, The Center for Alternative Technology | |
| | 4 | 10月25日:Unit 4, Clearing Landmines | |
| | 5 | 11月1日:Unit 5, An Ethical Bank | |
| | 6 | 11月8日:Unit 6, Stewardship Programs | |

| | | |
|-------------|--|--|
| 授業内容 | 7 | 11月15日: Unit 7, Medicine for The Poor |
| | 8 | 11月29日: Unit 8, A Computer for Every Child |
| | 9 | 12月6日: Unit 9, The Eco-Economy |
| | 10 | 12月13日: Unit 10, Buying Paradise |
| | 11 | 12月20日: Unit 11, Environment-Friendly Paper |
| | 12 | 12月27日: Unit 12, Combating Global Warming |
| | 13 | 1月10日: G-Telp テスト |
| | 14 | 1月24日: An Ethical Cup of Tea |
| | 15 | 1月31日: Unit 14, Organic Farming Can Feed The World |
| | 16 | 2月7日: 定期試験 |
| キーワード | 速読、効果的な英文読解 | |
| 教科書・教材・参考書 | David Peaty, Good News, Kirihara Shoten | |
| 成績評価の方法・基準等 | <p>教員評価部分【期末筆記試験及び小テストの結果(60%)と授業中の発表・授業への取り組み方など総合的に評価する。】</p> <p>平成25年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を60%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績、e-learning 活用を20%とし、総合的に行なわれます。</p> | |
| 受講要件（履修条件） | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考（URL） | | |
| 備考（準備学習等） | G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。 | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011033 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(K1) | | |
| 編集担当教員 | 西原 俊明 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 西原 俊明 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 西原 俊明 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-35(call1) | | |
| 対象学生(クラス等) | (K1) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | t-nishi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2095 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment | | |
| 授業のねらい | 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、環境問題を取り扱ったauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 | | |
| 授業到達目標 | 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、題材には環境問題に関わるものを選択し、学部教育への橋渡しのものを扱う。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 10月2日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明 | |
| | 2 | 10月9日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1) | |
| | 3 | 10月16日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1) | |
| | 4 | 10月23日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading) | |
| | 5 | 10月30日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading) | |
| | 6 | 11月6日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading) | |

| | | | |
|------------|-------------|--|--|
| 授業内容 | 7 | 11月13日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1) | |
| | 8 | 11月20日 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2) | |
| | 9 | 11月27日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 映画による聞き取り(3) | |
| | 10 | 12月4日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4) | |
| | 11 | 12月11日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3), 速読(phrase reading) | |
| | 12 | 12月18日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading) | |
| | 13 | 12月25日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6) | |
| | 14 | 1月8日 G-TELPテスト | |
| | 15 | 1月15日 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2) | |
| | 16 | | |
| | キーワード | 速読、Plain English、リズムユニット、音変化 | |
| | 教科書・教材・参考書 | プリント教材、及び聞き取り、Plain English訓練テキスト (Cultural Encounters: センゲージ) 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。 | |
| | 成績評価の方法・基準等 | 評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。 | |
| | 受講要件 (履修条件) | 新たに学習する内容は、きちんと復習すること！ | |
| | 本科目の位置づけ | 高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。 | |
| | 学習・教育目標 | 英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。 | |
| 備考 (URL) | | | |
| 備考 (準備学習等) | | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|---|--|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 金 3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011034 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(M2) | | |
| 編集担当教員 | 西原 俊明 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 西原 俊明 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 西原 俊明 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-32 | | |
| 対象学生（クラス等） | (M2) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | t-nishi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2095 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment | | |
| 授業のねらい | 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 [^] アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。 | | |
| 授業到達目標 | 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。 | | |
| | 英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 10月4日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明 | |
| | 2 | 10月11日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)と [^] アワーク(1)、医者と患者の会話(1) | |
| | 3 | 10月18日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2) | |
| | 4 | 10月25日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3) | |
| | 5 | 11月1日 | |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| 授業内容 | 5 | 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医者と患者の会話(4) | |
| | 6 | 11月8日 第6回 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5) | |
| | 7 | 11月15日 第7回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(1), 映画による聞き取り(1), | |
| | 8 | 11月29日 第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5), 速読(2) | |
| | 9 | 12月6日 第9回 インフォメーションギャップによる ^h アワーク(2), 医者と患者の会話(6) | |
| | 10 | 12月13日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3) | |
| | 11 | 12月20日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4) | |
| | 12 | 12月27日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる ^h アワーク(3) | |
| | 13 | 1月10日 G-TELPテスト | |
| | 14 | 1月24日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5) | |
| | 15 | 1月31日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習 | |
| | 16 | | |
| | キーワード | 医学英語、音変化、速読 | |
| | 教科書・教材・参考書 | 医学英語テキスト、及びプリント教材。 | |
| | 成績評価の方法・基準等 | 評価は、G-TELP(20%)、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いてのe-Learning学習は、15時間の学習を10%、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。 | |
| | 受講要件(履修条件) | 毎回、復習を行うこと。 | |
| 本科目の位置づけ | 英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。 | | |
| 学習・教育目標 | 基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。 | | |
| 備考(URL) | | | |
| 備考(準備学習等) | 毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。 | | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|---------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 月 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011035 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(L3) | | |
| 編集担当教員 | 隈上 麻衣 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 隈上 麻衣 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 隈上 麻衣 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-23 | | |
| 対象学生（クラス等） | (L3) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | mkumagami@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 言語教育研究センター114 | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2172 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火曜4限（メールでのアポイントメントにより随時受け付ける） | | |
| 授業のねらい | 本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 毎回小テストを実施する。授業で扱うUnitのニュースの聞き取りまたは速読をし、日本語で要約した後、精読をする。必要に応じて、重要な文法項目や語彙を用いた作文を書く。 | | |
| 授業到達目標 | 与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Orientation & Self-Introduction | |
| | 2 | Unit 1 | |
| | 3 | Unit 2 | |
| | 4 | Unit 3 | |
| | 5 | Unit 4 | |
| | 6 | Unit 5 | |
| | 7 | Midterm Examination | |
| | 8 | Unit 6 | |
| | 9 | Unit 7 | |
| | 10 | Unit 8 | |
| | 11 | Unit 9 | |
| 12 | Unit 10 | | |

| | | |
|-------------|---|-------------------|
| | 13 | G-TELP |
| | 14 | Unit 11 |
| | 15 | Unit 12 |
| | 16 | Final Examination |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | To the Future: Topics in Health & Environment from VOA, 松柏社 | |
| 成績評価の方法・基準等 | Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), G-TELP (20%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each) | |
| 受講要件 (履修条件) | 全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。 | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|-------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 火3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011036 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(E5) | | |
| 編集担当教員 | 小笠原 真司 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 小笠原 真司 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 小笠原 真司 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養B棟]B-44 | | |
| 対象学生(クラス等) | (E5) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 環境科学部1階 | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2094 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火4 水3 木3 | | |
| 授業のねらい | このクラスは、医学・薬学・健康・食品関係の英文テキストを読みながら、リーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | 演習形式で行います。指定されたリーディング用のテキストで、大意を取る練習をするとともに、細かな部分はプリントを利用したテスト形式で読み進めます。家庭での精読を課題として行ってもらいます。またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。そして、e-learning 教材を授業中行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習してもらいます。 | | |
| 授業到達目標 | テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words および Words and Phrases 約400語を確実に修得します。 e-learning 教材パワーワーズレベル4の90%を修得します。3Step 教材は、15時間以上挑戦してもらいます。 | | |
| | <p>授業の最初は、まず家庭学習のe-learning教材の小テストを行います。</p> <p>英語コミュニケーション用のプリントのダイアログパターンの練習を行います。家庭で練習してきてください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでも、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。細かな部分の内容の理解は、テスト形式のプリントを用いて、演習形式で行います。</p> <p>また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習として、その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってく</p> | | |

ださい。

授業内容

| 回 | 内容 |
|----|--|
| 1 | オリエンテーション Unit 1. Singapore's Love Potion e-learning Power Pords Level 4 Unit.1 3 Step |
| 2 | Unit 2. Bird Flue 専門英語語彙 (1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4 3 Step |
| 3 | Unit 3. Foreign Staff 専門英語語彙 (2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8 3 Step |
| 4 | Unit 4. Two Languages 専門英語語彙 (3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12 3 Step |
| 5 | Unit 5. BSE 専門英語語彙 (4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16 3 Step |
| 6 | Unit 6. New Alcohol-flavored Biscuits 専門英語語彙 (5) e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20 3 Step |
| 7 | Unit 7. Alzheimer's Disease 専門英語語彙 (6) e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24 3 Step |
| 8 | Unit 8. Melatonin 専門英語語彙 (7) e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28 3 Step |
| 9 | Unit 9. Fat Kids 専門英語語彙 (8) e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32 3 Step |
| 10 | Unit 10. Air Worse 専門英語語彙 (9) e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36 3 Step |
| 11 | Unit 11. Church Candles 専門英語語彙 (10) e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40 3 Step |
| 12 | Unit 12. Water and Sports 専門英語語彙 (11) e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43 3 Step |
| 13 | G-TELP 試験 |
| 14 | Unit 13. World's Oldest Person 専門英語語彙 (12) e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47 3 Step |

| | |
|-------------|--|
| | 英コミ ダイアログ 40,41,42 |
| | Unit 14. Fat Baby 15 専門英語語彙 (13) e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50 3 Step |
| | 16 定期試験 |
| キーワード | スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング |
| 教科書・教材・参考書 | 教科書（テキスト）： Health and Nutrition News（金星堂） 1,850円 教材：プリント教材 必要に応じて毎回配布します。 |
| 成績評価の方法・基準等 | 成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%(小テスト含む) 授業中の発表10%で行います。 |
| 受講要件（履修条件） | 全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。 |
| 本科目の位置づけ | |
| 学習・教育目標 | |
| 備考（URL） | |
| 備考（準備学習等） | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|-------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011037 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(L5) | | |
| 編集担当教員 | 小笠原 真司 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 小笠原 真司 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 小笠原 真司 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-35(call1) | | |
| 対象学生（クラス等） | (L5) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 環境科学部1階 | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2094 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火4 水3 木3 | | |
| 授業のねらい | このクラスは、テキストを利用して、リスニング力の養成や構文練習を行い、リスニングスキルやスピーキングスキルを向上させます。またプリント教材や英字新聞も用いて、毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、リスニングストラテジーやリスニングスキルを身につけてもらいます。そして、テキストに用意されたキーセンテンスや会話文を利用して、スピーキングの練習をします。また英字新聞等を利用して、フレーズリーディングをしながら、速読の練習をします。パラグラフを要約したり、必要な情報をすばやく見つけるようなスキミング、スキミングの練習もします。授業の一部を利用して、e-learning 教材に挑戦してもらい、語彙力やリスニング力をさらに強化します。e-learning教材の多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。 | | |
| 授業到達目標 | <p>英字新聞の記事を辞書なしでも大意がとれるようにします。英字新聞で使われた語彙を修得するようにします。</p> <p>また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120をリピーティングできるまで練習します。</p> <p>e-learning 教材パワーワーズレベル3を終わりまで学習します。3 Step CALL の教材に合計15時間以上挑戦してもらいます。</p> | | |
| | <p>授業の最初には、e-learning 教材の小テストを行います。次に、教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。歌で使用されている構文を利用した暗記用例文をリピーティングすることにより、スピーキングの練習をしてもらいます。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生はプリント教材や英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加え</p> | | |

す。

担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。

| 回 | 内容 |
|----|---|
| 1 | オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 4 Unit.1 3 Step |
| 2 | Edelweiss, Amazing Grace 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4 3 Step |
| 3 | Puff 英字新聞記事1 e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8 3 Step |
| 4 | Unchained Melody 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12 3 Step |
| 5 | Over the Rainbow 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16 3 Step |
| 6 | Where Have All the Flowers Gone? 英字新聞記事2 e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20 3 Step |
| 7 | Tennessee Waltz 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24 3 Step |
| 8 | My Way 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28 3 Step |
| 9 | Dreaming Home and Mother 英字新聞記事3 e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32 3 Step |
| 10 | Long Long Ago 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36 3 Step |
| 11 | Grandfather's Clock 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40 3 Step |
| 12 | I've Working on the Railroad 英字新聞記事4 e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43 3 Step |
| 13 | 英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ |
| 14 | Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47 |

授業内容

| | |
|-------------|--|
| | 3 Step |
| | We wish you a Merry Christmas 英字新聞記事5 e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50 3 Step |
| | 16 定期試験 |
| キーワード | スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング |
| 教科書・教材・参考書 | 教科書（テキスト）： English Communication through Pop and hometown Songs（CD付）（英光社）1,600円 英字新聞 10円 （第1回目の授業時に教室にてセットで販売します） 教材：プリント教材 毎回配布します。 |
| 成績評価の方法・基準等 | 成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%（小テスト含む）、授業中の発表10%で行います。 |
| 受講要件（履修条件） | 全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。 |
| 本科目の位置づけ | |
| 学習・教育目標 | |
| 備考（URL） | |
| 備考（準備学習等） | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|-------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 木 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011038 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(M5) | | |
| 編集担当教員 | 小笠原 真司 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 小笠原 真司 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 小笠原 真司 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養C棟]C-45(call3) | | |
| 対象学生（クラス等） | (M5) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 環境科学部1階 | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2094 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 火4 水3 木3 | | |
| 授業のねらい | このクラスは、医学・薬学・健康・食品関係の英文テキストを読みながら、リーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 演習形式で行います。指定されたリーディング用のテキストで、大意を取る練習をするとともに、細かな部分はプリントを利用したテスト形式で読み進めます。家庭での精読を課題として行ってもらいます。またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。そして、e-learning 教材を授業中行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習してもらいます。 | | |
| 授業到達目標 | テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words および Words and Phrases 約400語を確実に修得します。 e-learning 教材パワーワーズレベル4の90%を修得します。3Step 教材は、15時間以上挑戦してもらいます。 | | |
| | <p>授業の最初は、まず家庭学習のe-learning教材の小テストを行います。</p> <p>英語コミュニケーション用のプリントのダイアログパターンの練習を行います。家庭で練習してきてください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでも、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。細かな部分の内容の理解は、テスト形式のプリントを用いて、演習形式で行います。</p> <p>また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習として、その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってく</p> | | |

ださい。

授業内容

| 回 | 内容 |
|----|--|
| 1 | オリエンテーション Unit 1. Singapore's Love Potion e-learning Power Pords Level 4 Unit.1 3 Step |
| 2 | Unit 2. Bird Flue 専門英語語彙 (1) e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4 3 Step |
| 3 | Unit 3. Foreign Staff 専門英語語彙 (2) e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8 3 Step |
| 4 | Unit 4. Two Languages 専門英語語彙 (3) e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12 3 Step |
| 5 | Unit 5. BSE 専門英語語彙 (4) e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16 3 Step |
| 6 | Unit 6. New Alcohol-flavored Biscuits 専門英語語彙 (5) e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20 3 Step |
| 7 | Unit 7. Alzheimer's Disease 専門英語語彙 (6) e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24 3 Step |
| 8 | Unit 8. Melatonin 専門英語語彙 (7) e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28 3 Step |
| 9 | Unit 9. Fat Kids 専門英語語彙 (8) e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32 3 Step |
| 10 | Unit 10. Air Worse 専門英語語彙 (9) e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36 3 Step |
| 11 | Unit 11. Church Candles 専門英語語彙 (10) e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40 3 Step |
| 12 | Unit 12. Water and Sports 専門英語語彙 (11) e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43 3 Step |
| 13 | G-TELP 試験 |
| 14 | Unit 13. World's Oldest Person 専門英語語彙 (12) e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47 3 Step |

| | |
|-------------|--|
| | 英コミ ダイアログ 40,41,42 |
| | Unit 14. Fat Baby 15 専門英語語彙 (13) e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50 3 Step |
| | 16 定期試験 |
| キーワード | スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング |
| 教科書・教材・参考書 | 教科書（テキスト）： Health and Nutrition News（金星堂） 1,850円 教材：プリント教材 必要に応じて毎回配布します。 |
| 成績評価の方法・基準等 | 成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20%(小テスト含む) 授業中の発表10%で行います。 |
| 受講要件（履修条件） | 全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。 |
| 本科目の位置づけ | |
| 学習・教育目標 | |
| 備考（URL） | |
| 備考（準備学習等） | |



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 英語科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|---|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水 4 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011039 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(L2) | | |
| 編集担当教員 | 稲毛 逸郎 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 稲毛 逸郎 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 稲毛 逸郎 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-14 | | |
| 対象学生（クラス等） | (L2) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | inage@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | 教育学部 6F 618 研究室 | | |
| 担当教員TEL | 095-819-2093 | | |
| 担当教員オフィスアワー | 水曜日 16:10～17:40 | | |
| 授業のねらい | 前期までの英語学習を踏まえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。 | | |
| 授業方法（学習指導法） | 英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。 | | |
| 授業到達目標 | 英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。 | | |
| | 1 6回目 定期試験実施 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Introduction Scanning のスキルについて | |
| | 2 | Unit 2 Communication Using Titles to Understand Main Ideas (Gist) | |
| | 3 | Unit 3 Communication Breakdown Skimming for the Main Idea | |
| | 4 | Unit 4 Verbal vs. Nonverbal Communication Recognizing Sequence of Events | |
| | 5 | Unit 5 Nonverbal Modalities Identifying Main Ideas within Paragraphs (1) | |
| | 6 | Unit 6 Cultures and Subcultures Predicting のスキル | |
| | 7 | Unit 7 Who's Smarter | |

| | | |
|-------------|---|--|
| 授業内容 | | Inferring のスキル |
| | 8 | Unit 8 Subcultures within Japan Identifying Main and Supporting Ideas |
| | 9 | Unit 9 Beliefs Understanding Main Ideas (Gist) |
| | 10 | Unit 10 Values and Attitudes Identifying Main Ideas within Paragraphs (2) |
| | 11 | Unit 11 What We Eat Developing Reading Fluency (1) |
| | 12 | Unit 12 How People Eat Developing Reading Fluency (2) |
| | 13 | G-TELP 試験実施 |
| | 14 | Unit 13 Generalizations and Stereotypes Developing Reading Fluency (3) |
| | 15 | Unit 14 The Dangers of Stereotypes Developing Reading Fluency (4) |
| | 16 | 定期試験実施 |
| キーワード | 英語の4技能、 総合的訓練 | |
| 教科書・教材・参考書 | John Hinds. An Introduction to Intercultural Communication. 南雲堂. | |
| 成績評価の方法・基準等 | 期末試験(70%)、G-TELP の成績(20%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。 | |
| 受講要件 (履修条件) | | |
| 本科目の位置づけ | 既習外国語 | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。 | |



タイトル「2013年度シラバス（教養教育科目）」、開講所属「教養教育-教養教育 英語科目」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|-------------------|--|--------------------------------|----------|
| 学期 | 後期 | 曜日・校時 | 水3 |
| 開講期間 | | | |
| 必修選択 | 必 | 単位数 | 1.0 |
| 時間割コード | 20130590011040 | 科目番号 | 05900110 |
| 授業科目名 | ●総合英語Ⅱ(P1) | | |
| 編集担当教員 | 隈上 麻衣 | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) | 隈上 麻衣 | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) | 隈上 麻衣 | | |
| 科目分類 | 外国語科目、A科目 外国語 既習 | | |
| 対象年次 | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 | 演習科目 |
| 教室 | [教養A棟]A-31 | | |
| 対象学生(クラス等) | (P1) | | |
| 担当教員Eメールアドレス | mkumagami@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 | | | |
| 担当教員TEL | | | |
| 担当教員オフィスアワー | 木曜3限(メールでも受け付ける) | | |
| 授業のねらい | 本授業では、下記のテキストを使用し、英文読解・聞き取り・作文を中心に学習を進める。多岐にわたるトピックに関して、簡潔にまとめ、説明・議論するために必要な語彙力や論理的思考力を養成し、英語を運用するために必要な基礎力を向上させる。 | | |
| 授業方法(学習指導法) | 毎回小テストを実施する。授業で扱うUnitのニュースの聞き取りまたは速読をし、日本語で要約した後、精読をする。必要に応じて、重要な文法項目や語彙を用いた作文を書く。 | | |
| 授業到達目標 | 与えられた言語資料の細部まで理解する読み方・聞き方と大意を掴むための読み方・聞き方を、必要に応じて使い分けられるようになる。 | | |
| 授業内容 | 回 | 内容 | |
| | 1 | Orientation, Self-introduction | |
| | 2 | Unit 1 | |
| | 3 | Unit 2 | |
| | 4 | Unit 3 | |
| | 5 | Unit 4 | |
| | 6 | Unit 5 | |
| | 7 | Midterm Exam | |
| | 8 | Unit 6 | |
| | 9 | Unit 7 | |
| | 10 | Unit 8 | |
| | 11 | Unit 9 | |
| 12 | Unit 10 | | |

| | | |
|-------------|---|------------|
| | 13 | G-TELP |
| | 14 | Unit 11 |
| | 15 | Unit 12 |
| | 16 | Final Exam |
| キーワード | | |
| 教科書・教材・参考書 | TBA | |
| 成績評価の方法・基準等 | Attendance & Participation (10%), Quiz (20%), Midterm Exam (15%), Final Exam (15%), G-TELP (20%), e-learning (20%: 3 Step CALL and PowerWords 10% each) | |
| 受講要件 (履修条件) | | |
| 本科目の位置づけ | | |
| 学習・教育目標 | | |
| 備考 (URL) | | |
| 備考 (準備学習等) | | |

